

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきしやだんほうじんせんとらるあいちこうきょうがくだん		
	制作団体名	公益社団法人セントラル愛知交響楽団		
	代表者職・氏名	理事長 山田貞夫		団体ウェブサイトURL https://www.caso.jp
	制作団体所在地	〒 450-0003	最寄駅(バス停)	名古屋市バス「六反公園」
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	昭和58年4月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		理事長/山田貞夫 副理事長/中西政男 田中英成 常務理事/瀬戸和夫	役員13名 事務局員11名 楽団員50名 法人賛助会員72社 個人賛助会員80名 リスナー会員111名	
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	清水善一
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	小林良子
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス office@caso.jp	電話番号	0525813851

制作団体の実績	<p>制作団体沿革・主な受賞歴</p> <p>1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任、2024年4月より音楽監督。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、コンサートシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稻沢市文化振興財団とも協定を締結。</p> <p>1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽・パンクラブ賞」受賞。</p>
	<p>学校等における公演実績</p> <p>【2019年度】 愛知県/12公演、三重県/5公演、岐阜県/3公演、福井県/1公演 <u>計21公演</u></p> <p>【2020年度】 愛知県/9公演(左記公演数の他、5公演中止)、三重県/2公演(1公演中止)、岐阜県/2公演(2公演中止)、福井県/1公演 <u>計14公演(内8公演中止)</u></p> <p>【2021年度】 愛知県13公演(2公演中止)、三重県/4公演(1公演中止)、岐阜県/5公演、福井県/1公演 ※学校単独公演の他、県および市の文化振興事業団等の主催公演(複数校参加)回数を含む <u>計23公演(内3公演中止)</u></p> <p>【2022年度】 愛知県/9公演、三重県/2公演、岐阜県/7公演、福井県/1公演 <u>計19公演</u></p> <p>【2023年度】 愛知県/9公演、三重県/3公演、岐阜県/2公演 <u>計14公演</u></p> <p>【2024年度】 愛知県/11公演、岐阜県/4件 <u>計15公演</u></p> <p>【2025年度】※9月末現在 愛知県/9公演、岐阜県/2公演 <u>計11公演</u></p>
	<p>特別支援学校等における公演実績</p> <p>平成19年 豊田養護学校 平成20年 佐織養護学校 平成21年 東急ふれあいコンサート(盲学校対象公演) 平成22年 北きらら学園、山梨県立ろう学校(※) 平成23年 宮古恵風支援学校(※) 平成26年 愛知県立港特別支援学校 等</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	無	
	※公開資料有の場合URL		
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	PW:

別添

あり

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	テーマ:『踊りの音楽～ようすを想い描いて』			
企画のねらい	文科省学習指導要領音楽科の目標に示されている『音楽を愛好する心情の育成、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う』ことを念頭におき、本巡回公演が普段の音楽授業(学習)ではない貴重な「表現と鑑賞」の活動(機会)となるよう、企画構成した。諸外国と我が国の踊りの音楽の中から、その地域特有の風土、また情景などで表現された音楽に触れ、それぞれの楽曲固有の雰囲気・表情・味わいを、児童・生徒ひとりひとりが音楽に親み、想いを馳せ、感受できる機会としたい。			
演目概要・演目選択理由	演目概要 別添あり…【添付資料 リンク先No.1】 演目選択理由 チェコ、ロシア、イギリス、オーストリア、ドイツに加えて日本の踊りの音楽で構成した。上述のように、国や地域の風土、音楽や物語の場面などの特徴的な音楽的要素(旋律、リズム、拍子、速さなど)を考慮した構成とし、いろいろな踊りの音楽での描写を楽しんでいただく。			
児童・生徒の参加または体験の形態	[小学校] イギリスの作曲家、エドワード・エルガー一進行曲「威風堂々」を6年生児童のリコーダーで共演する。勇壮な名曲の鑑賞に加え、後半のトリオ再現部の旋律をオーケストラと共に演奏する。なお、リコーダーパート譜は旋律と簡易パートを作成。また、指揮者体験コーナーでは、全員で指揮の仕方を学び、代表児童(3名)の指揮による演奏を実施する。 [中学校] 校内で親しまれている愛唱歌等を、普段体験する機会がないオーケストラ伴奏で共演する。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人數目安	小学校…6年生、中学校…全校生徒
			鑑賞人數目安	全校児童・生徒
本公演・ワークショップの内容	♪スラップ舞曲46-3 作曲:アントニン・ドヴォルザーク (4分10秒) ◇弦楽器紹介 (5分) ♪トリプティーク(弦楽のための三楽章)より第3楽章 作曲:芥川也寸志 (3分) ◇管・打楽器紹介 (10分) ♪狂乱のポルカ(ギャロップのように) 作品260 作曲:ヨハン・シュトラウス2世 (2分30秒) ◇指揮者体験コーナー (10分) 使用曲… ♪ハンガリー舞曲第5番 作曲:ヨハネス・ブルームス			
	《休憩 10分》			
	◇共演コーナー (10分) [小学校] 使用曲… ♪行進曲「威風堂々」第1番 作曲:エドワード・エルガー リコーダー(6年生)とオーケストラの共演 [中学校] 使用曲… ♪実施校と相談の上、決定 実施校の愛唱歌や、校内合唱コンクール等での演奏曲などから希望曲をオーケストラと共に演			
	♪バレエ組曲「眠れる森の美女」より 作曲:ピョートル・チャイコフスキイ (12分30秒) ・プロローグ・猫・ワルツ			
	♪校歌 (5分)			
	♪アンコール (3分)			
	公演時間	85	分	
出演者	別添あり…【添付資料 リンク先No.2】			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<指揮>角田鋼亮…セントラル愛知交響楽団音楽監督(2024年4月～) 東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞他。国内ではNHK交響楽団他主要オーケストラと共に演。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」他受賞。 <司会>加藤恵利子 名古屋音楽大学声楽学科卒業。 名古屋市新進演奏家紹介コンサート優秀賞、(社)日本歌曲振興会 日本歌曲コンクール声楽部門入選。これまでに歌劇「あしたの瞳～もうひとつの未来(初演)」「ブラック・ジャック～時をめぐる3章(初演)」「屋根の上のヴァイオリン弾き」等に出演。平成30年度芸術創造賞(名古屋市文化振興事業団)受賞。			

本公司 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	61	名	運搬	積載量:	4	t
	スタッフ:	9	名		車 長:	9	m
	合 計:	70	名		台 数:	2	台

本公司 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度		
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去			
	8時	8:00～10:00	13:30～15:00	10分	15:30～16:45			
※本公司演時間の目安は、概ね2時間程度です。								
本公司 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月	8月	9月			
	3日		5日	0日	5日			
	10月		11月	12月	1月			
	5日		4日	0日	0日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	22日			
本公司 ・ワークショッ プの内 容				体育館に特設ステージを組み、 オーケストラによる名曲の鑑賞				
				指揮者体験コーナーでは、 オーケストラを指揮して 名曲を演奏				
				全校児童・生徒とオーケストラが共演。				
	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当あり	該当コンテンツ名	<ul style="list-style-type: none"> ・トリプティック（弦楽のための三楽章） ・中学校合唱曲（曲名は未定） 		
	該当事項がある 場合	権利者名	芥川也寸志 他	許諾確認状況	採択後手続き予定			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	本公演の共演が、児童・生徒にとってオーケストラと一緒に音楽を創り上げる貴重な体験の機会となることを目標とする。その前段としてのワークショップは、参加者と演奏者が身近で生の音楽を通してふれあい、対話や交流の場として、音楽を表現する楽しさや喜びを感受できるように企画した。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	[小学校] 6年生(人数により調整) [中学校] 3年生(人数により調整)
	<p>「ミニオーケストラがやって来た！」という設定で実施。</p> <p>[小学校] 【第1時限】 ◇訪問メンバー(弦楽器2種、木管・金管・打楽器は各1種の計5名の演奏者を予定)によるアンサンブル演奏と楽器紹介に併せてメンバー紹介。 楽器紹介…それぞれの楽器の音が出る原理の話と演奏。 ◇「音楽ってどんなもの？」と題して、音楽を構成する3大要素(旋律、リズム、ハーモニー)について、実際に演奏や手拍子などで理解する。 ◇第2時限での主要教材曲「威風堂々」(エルガー作曲)の解説と、その旋律に注目してミニオーケストラの演奏を聴き、曲のイメージを感じ取る。</p> <p>【第2時限】 ◇共演する「威風堂々」のトリオの部分(共演)を、リコーダーで練習する。 訪問メンバーでグループ分けをして、きれいな音の出し方や指使いについて理解し、練習する。 ◇最後は一堂に会し、訪問メンバーによるミニオーケストラの演奏に合わせて演奏する。 本公司での共演への期待感を醸し出す。</p> <p>[中学校] 【第1時限】 ◇訪問メンバー(弦楽器、木管楽器・金管楽器、声楽、ピアノの計5名)による独奏・独唱と、楽器紹介に併せてメンバー紹介。 楽器紹介…それぞれの楽器の音が出る原理の話と演奏。</p> <p>【第2時限】 ◇歌唱指導…本公司でオーケストラと共に演ずる合唱曲を声楽家が歌唱指導。</p>			
	実施校にはワークショップ及び本公司の事前準備に極力負担がかからないように配慮したい。2025年度巡回公演に関わるワークショップの実施状況を踏まえ、今回の実施計画にあたって音楽監督、委員会(楽員スタッフ)、事務局による企画・検討を重ね、更に児童・生徒の興味・関心・意欲を引き出す工夫や本公司との関連性を重視して計画をする。			
	その他ワークショップに関する特記事項等			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通

No.4(共通)

別添

なし

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。				
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。				
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。				
	上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。				
	任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。				
	詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。				
	なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。				

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
	会場の設置階の制限	2F以上応相談	主幹引き込み電源容量	0.2 A以上	
	舞台設置面積	間口 高さ	18 m 指定なし	奥行 m	11 m
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	条件が合えば可
	搬入間口の広さ	幅	1.5 m	高さ	1.8 m
	遮光の要否	5割程度必要	縫帳の要否	有無のみ確認したい	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定	なし	
	搬入車両(トラック等)の横づけ	必須	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	7 m以内	
	搬入車両の種類	大型トラック	台数	2 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	2.5 m	車長	9 m
	備考				

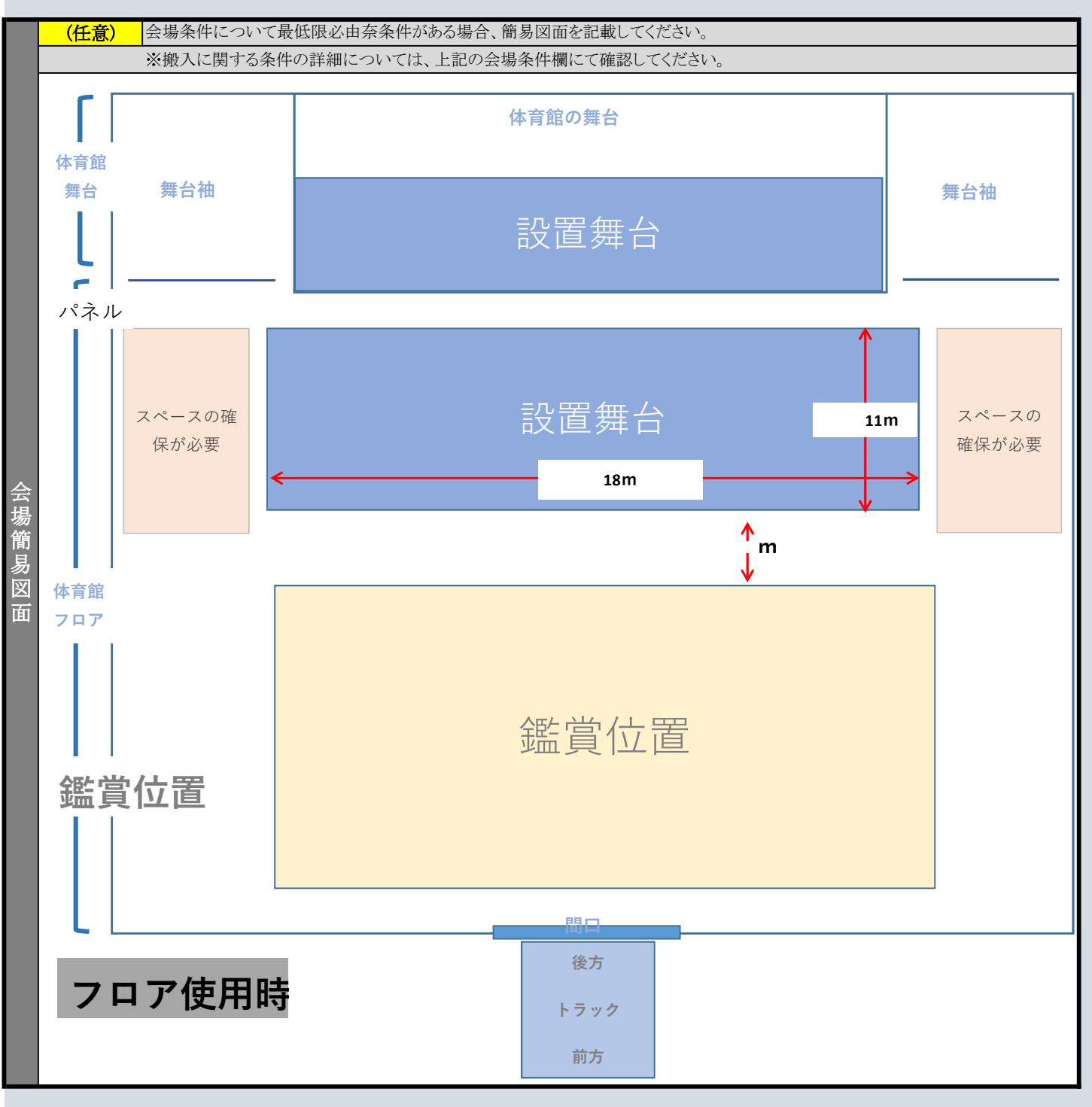
※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否		要		
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		搬入間口や搬入経路の写真の提出		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。 なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。			
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
	ワークショップ				
本公演					
本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	
	2	
3		

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。
※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

当団は学校公演と共に成長してきたオーケストラであり、40年を超える活動の中で蓄積してきた経験と実績を活かし、学校現場の状況や要望を踏まえて柔軟に対応できる団体と自負している。事業提携している岩倉市では市内の小・中学校の鑑賞会やジュニアオーケストラの指導、半田市では中学校吹奏楽部の指導、演奏会の実施等多くの学校からの依頼公演を受け、児童・生徒の目線に立った指導や演奏をする貴重な機会を得ている。

また、経営理念の目標のひとつとして、学校公演を中心とした次世代を担う子どもたちを育成する事業を掲げている。

申請にあたっては、多くの児童・生徒が生のオーケストラを身近で聴き、また、共演の場を通してより心に響く感動体験ができる貴重な機会であり、当団としては未来の鑑賞者づくりへの基盤と捉え取り組んで行く。

テーマを『踊りの音楽～ようすを想い描いて』として、各楽曲に滲み出る風土・時代から生まれた様々な音楽表現や、音楽を形作っている色々な要素に気づき、音楽への興味・関心を促したい。ワークショップの指導(体験)内容を発展させ、本公演の共演では日常でない体験と、全校で感動の場面を創っていく。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

当団の学校公演のノウハウを活かして、児童・生徒の興味・関心を引くように、本公演の進行台本を作成の上、指揮者、演奏者、司会者と公演の雰囲気づくりに努める。

出演者には、事前に学校訪問時の留意点(注意点)について資料作成の上配布し、リハーサル時に改めて読み合わせをする(特に、挨拶、授業の妨げにならない行動、形態電話使用について他)など、演奏のみならず団として品位ある姿勢で臨む。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

1)実施詳細資料のご提供と事務連絡サポート

ワークショップ並びに本公演について、実施校の負担が無いように事前に内容等の伝達をする。また、過去実施してきた公演のサンプル画像やその他資料等を提供し、イメージを想定いただく。

2)事前ワークショップ実施以前に、ワークショップ並びに本公演についての確認事項の要点をまとめた資料により、タイムスケジュールや楽器搬入並びに楽員の訪校等の経路、実施会場等の確認をさせていただく。

3)実施校のご担当の先生との諸連絡については、公務(教務)の妨げにならないよう配慮する。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

司会者のスムーズな進行や語りかけは、一人ひとりの児童・生徒に、音楽を鑑賞する気持ちに大きく左右する。演奏者を含めて、鑑賞者の反応を感じつつ音楽鑑賞する雰囲気づくりに努める。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

本事業の「企画のねらい」で示した内容として、学校教育のなかで一過性でなく学年や校種を越えて生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる貴重な機会となることを願う。

実施直後の児童・生徒の表情や生の声、また、例年実施校から寄せられる感想文などに綴られている、音楽や楽器演奏への憧れなどの文章は、逆に当団としてのやりがい感を抱いている。

リンク先 No.2 【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

♪スラブ舞曲46-3

作曲:アントニン・ドヴォルザーク(チェコ／1841年9月8日 - 1904年5月1日)

この曲は、ピアノ曲集(連弾)として作曲され、後にオーケストラに編曲された舞曲(踊りの音楽)の中の1曲です。有名なチェコの舞曲「ポルカ」で、生き生きとした踊りと、ゆったりと体を揺らすような場面があります。

♪トリプティーク(弦楽のための三楽章)より第3楽章

作曲:芥川也寸志(日本／1925年7月12日 - 1989年1月31日)

神社の祭囃子の雰囲気ではじまり、その後おどけたような陽気な様子から勢いが最高潮。最後は力強く終わります。

♪狂乱のポルカ(ギャロップのように) 作品260

作曲:ヨハン・シュトラウス2世(オーストリア／1825年10月25日 - 1899年6月3日)

「美しく青きドナウ」で有名な作曲者は、ワルツやポルカを数多く作曲しています。

ポルカと言うよりは、馬が猛スピードで駆け抜けるようなギャロップ(ダンス)で人々が躍っている様子が目に浮かびます。

♪ハンガリー舞曲第5番

作曲:ヨハネス・ブラームス(ドイツ／1833年5月7日 - 1897年4月3日)

作曲者がハンガリーを旅行した時に出会った民謡を集めてまとめた作品の1曲です。速さや強弱の変化に富んでいますが、皆さんも指揮者になった気分で楽しんでください。

♪[小学校]行進曲「威風堂々」第1番

作曲:エドワード・エルガー(イギリス／1857年6月2日 - 1934年2月23日)

作曲者は行進曲を6曲作曲し、その中で最も広く知られた曲です。特に中間部(共演する部分)は、イギリスではオーケストラのコンサート以外、サッカーの応援歌として、またアメリカでは、学校の卒業式で吹奏楽や小学校のリコーダー合奏でも使われているそうです。

♪[中学校]※実施校と曲目決定後

♪バレエ組曲「眠れる森の美女」より プロローグ、猫、ワルツ

作曲:ピョートル・チャイコフスキイ(ロシア／1840年5月7日 - 1893年11月6日)

昔話を題材とした物語で、『白鳥の湖』『くるみ割り人形』と並びチャイコフスキイの三大バレエのひとつとして有名な曲です。踊りが無くても音楽で情景が思い浮かびます。

♪校歌

演目概要

一般区分・特別エリア区分共通

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.2

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

		指揮者…角田鋼亮、司会…加藤恵利子					
		フルート	市川えり子	第1ヴァイオリン	吉岡秀和※	ヴィオラ	井野公実
			河合雪子		丹沢絵美		小中能会真
			岡本卓也		古宮山栄里		為貝香織
		オーボエ	安原太武郎		清水麗楽		依田郁子
			左古典子		西村洋美		柿本朱美
		クラリネット	滑川敬一		濱島仁美		エキストラ
			岩井遙		植村圭	チェロ	石橋隆弘
		ファゴット	大津敦		栗山聰子		本橋裕
			小野木栄水		エキストラ		堀田祐司
		ホルン	八木健史		エキストラ		貫名紗詠
			宇井智美	第2ヴァイオリン	向吉彩華		エキストラ
			高橋由佳		山田円香		エキストラ
			エキストラ		石橋玲子	コントラバス	榎原利修
		トランペット	清水祐男		鬼塚博道		森田真理
			エキストラ		高嶋耕二		高柳安佐子
			エキストラ		二川理嘉		谷脇友里恵
		トロンボーン	三浦葉月		荒巻理恵		
			森田和央		安田祥子		
			高橋喜仁	※コンサートマスター			
		チューバ	エキストラ				
		ハープ	エキストラ				
		打楽器	片山陽平				
			和泉麻里				
			深堀賢太朗				
			エキストラ				

出演者